



学校だより

令和6年4月30日
東京都立小平特別支援学校
校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671
病弱教育部門・武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

学校教育目標について

学校周囲の木々の若々しい緑が、日の光を浴びてキラキラと輝いています。新緑が美しく、気持ちのいい季節になりました。

新年度が始まって1か月が経ち、はじめは環境の変化に戸惑う様子を見せていた児童・生徒の皆さんですが、徐々に新しい学校生活にも慣れ、次第にそれぞれの個性を発揮し始める様子が見られています。これからの一人一人の活躍がとても楽しみです。



さて、本校では以下のような学校教育目標を掲げて教育活動を行っています。

- | | |
|--|-----------|
| (1) たくましく生きるための豊かな心、健やかな体を育成する。 | 【健やかな体と心】 |
| (2) 自ら課題を見付け、自ら学ぶ力、確かな学力を育成する。 | 【確かな学力】 |
| (3) 自ら考え、主体的に判断し、他人を思いやり行動する豊かな人間性を育成する。 | 【豊かな人間性】 |
| (4) 多様な人々と協働し、持続可能な社会の創り手となるための社会性を育成する。 | 【協働と社会性】 |

学校教育目標は、「全ての子供たちにこのように育ってほしい」という学校の願いです。学校の全ての教育活動は、この目標の実現に向けて行われています。今回の学校だよりでは、この教育目標の意味について、あらためてお伝えしたいと思います。

●「健やかな体と心」

たとえ障害や病気があっても、児童・生徒には、一人一人に応じた「健やかな体と心」があります。「健やかな体と心」とは、その児童・生徒にとっての「心身ともに健全な状態」であり、人生を豊かに生きていくための基盤になるものです。体育や自立活動はもちろんのこと、あらゆる教育活動を通して「健やかな体と心」を育てていきます。

●「確かな学力」「豊かな人間性」

学習指導要領には、育成すべき資質・能力の3つの柱として「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」が示されています。本校ではこれらの資質・能力を養い、学ぶ楽しさを実感しながら意欲的に学ぶとともに、自らの課題に向き合い、乗り越えていく基礎となる「確かな学力」を育みます。学力を育むための「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、ICT機器や支援機器等も活用し、授業改善に努めていきます。また、学校生活全般を通して、思いやりや愛情など内面的な人間性を育てていきます。

●「協働と社会性」

学校生活においても、また卒業後の社会生活においても、子供たちは集団の中で、人との関わりの中で生きていきます。その時に必要となるのは、人間関係を上手に構築できる能力、すなわち「社会性」であり、そのベースとなるのが「コミュニケーション能力」です。様々な機会をとらえ、一人一人の児童・生徒に合わせて「自分の意思や気持ちを伝える」「相手の言うことに耳を傾ける」といった基礎的なコミュニケーション能力を育てていきます。



一人一人の児童・生徒の目標や学習内容、指導の手だてなどについては、個別指導計画にてお示しいたします。御確認をいただき、お気づきの点がありましたら担任までお伝えください。

校長 鈴木 愛